

パークシティ白岡の危機管理・防災について

平成23年4月9日

防災部会 佐々木勝夫

首題に関する関係者の討議内容を報告し、「危機管理・防災ワーキンググループ」の立ち上げを提案する。

<経過>

第10回理事会(3/26)に於いて近藤理事から「パークシティ白岡の危機管理・防災について」の検討要請があった。4/9 関係者が要請内容の検討とこれからの進め方について意見交換しこの段階での一定の方向付けをした。内容は纏めの通り。

出席者: 行政区長、理事長、副理事長、設備部会長、防災部会長、センター長

<検討会の纏め>

- ①「パークシティ白岡自主防災会」は既に定めた規約の下に組織体として存立しているが、十分に機能発揮するため、より具体的に「パークシティ白岡」固有の実状に沿った連絡体制・組織・行動手順等の検討、見直しが必要であると考える。
- ②管理組合が主体となり危機管理・防災を検討するワーキンググループを立ち上げる。
- ③ワーキンググループ体制: 副理事長、防災部会長、防災部会、賛同者、有識者
- ④ワーキンググループの答申を待たず以下について予備調査、準備等に着手する。
平時又は非常時において危機管理・防災への対処すべき或いは対処したい課題は多々あるものと想定されるが関係者検討の席上で話題となり即時実行可能と思われる。

項目を列挙して置く。今後の検討作業進展で諸々の項目は当然に追加される。

- ・リーフレットの全戸配布(「地震からマンションを守る」)
 - ・「自主防災会」現体制下の氏名確認、連絡網の整理
 - ・災害弱者に対する安否確認方法
 - ・緊急非常食料品の館内備蓄(飲料水、干パン)
 - ・トイレ用水の確保方法の検討(空ペットボトル利用、雨水利用、駐車場空スペース)
 - ・平時情報収集方法の検討(フロア別輪番制等活用した情報交流環境の醸成)
 - ・停電時における館内一斉放送用非常電源バッテリー取付の可否
- ⑤上記①～④について理事会に報告、「危機管理・防災ワーキンググループ」の立ち上げについて承認を得る。
併せて、「危機管理・防災ワーキンググループ」の発足後、作業遂行にあたり行政との連携、パーク連絡協議会等との意見交換・聴取を行う。

以上